



## アメリカ大陸大学間連携ネットワーク 会則

### 第1章 総則

#### (名称)

第1条 本会は、アメリカ大陸大学間連携ネットワーク (Japanese University Network Bridging the Americas, JUNBA) という。

### 第2章 目的及び事業

#### (目的)

第2条 本会は、アメリカ大陸の諸国で活動する日本の大学間の連携を図り、日本の大学の国際化、国際的人材の養成、産学連携等の諸活動を支援し、日本及びアメリカ大陸の諸国における教育・研究の発展と、産業創出に寄与する事を目的とする。

#### (事業)

第3条 本会は、学術集会、講演会、国際交流会などの開催、及び連絡会議やホームページ等による情報交換、その他前条の目的を達成するために必要な事業を行う。

#### (事業年度)

第4条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

### 第3章 会員

#### (種別)

第5条 本会の会員は、本会の目的に賛同しその事業に積極的に参加し活動する大学、学術関連団体、法人、政府機関、非営利団体及び個人をいう。

2 団体会員 本会の目的に賛同し入会した、大学、法人、政府機関、非営利団体、及び学術関連団体。

3 個人会員 本会の目的に賛同して入会し、その事業に積極的に参加し活動する個人。

#### (入会)

第6条 会員として入会しようとする個人または団体は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

#### (資格の喪失)

第7条 会員は、理由を付した退会届を会長に提出して退会することができる。また、理事会において本会の会員として適当でないと議決された会員は、会長によって退会される。

## 第4章 役員

### (役員)

- 第8条 本会には、会長1名、副会長1名、事務局長1名、理事若干名の役員を置く。
- 2 会長、副会長、事務局長は理事を兼務する。
  - 3 理事のうち、1名を常務理事とすることができる。

### (役員を選任)

- 第9条 理事は、団体会員である大学及び学術関連団体の代表者から互選により選出される。理事会は、必要に応じて会員の中から若干名の理事を選ぶことができる。
- 2 会長は、理事の中より互選により選出される。
  - 3 副会長、事務局長、及び常務理事は、会長が理事の中から指名し、理事会で選任する。

### (役員職務)

- 第10条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が不在の時には会長の職務を代行する。
  - 3 事務局長は、本会の事務を統括する。
  - 4 常務理事は、本会の常務を処理する。
  - 5 理事は、理事会を構成し、本会に関する諸事業を立案し、審議し、実施する。

### (役員任期)

- 第11条 役員任期は、2年とし再任は妨げない。
- 2 補欠により選任された役員任期は、その前任者の残任期間とする。また、増員により選任された役員任期は、他の役員残任期間と同じとする。
  - 3 役員は、その任期満了後も後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

### (役員解任)

- 第12条 役員が次の各号の一に該当するときは、理事現在数の4分の3以上の議決により会長がこれを解任することができる。この場合、理事会で議決する前にその役員に弁明の機会を与えなければならない。
- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
  - (2) 職務上の義務違反、その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。

### (事務局)

- 第13条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局は、事務局長が統括する。

### (アドバイザー)

- 第14条 会長は、理事会の議を経て、アドバイザー、エグゼクティブアドバイザーを任命することができる。
- 2 アドバイザーは、本会の目的に賛同し、その事業に積極的に参加し、進言・助言を行う。

- 3 エグゼクティブアドバイザーは、理事会に対して定期的に進言・助言を行うとともに、会長の求めに応じて、本会の事業の企画立案及び実施に携わる。
- 4 アドバイザー、エグゼクティブアドバイザーの任期は、2年とし再任を妨げない。

(名誉アドバイザー)

第15条 本会に、名誉アドバイザーを置く。

- 2 会長は、名誉アドバイザーへの就任を在サンフランシスコ日本国総領事に依頼するものとする。
- 3 名誉アドバイザーは、本会の最高顧問であり、理事会に対し重要な指針を与える。

## 第5章 会議

(理事会の招集など)

第16条 理事会は、原則として毎月1回、会長が招集する。

- 2 会長は、必要と認めるときは、臨時の理事会を招集することができる。
- 3 会長は、理事現在数の3分の1以上から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求されたときは、その請求があった日から14日以内に臨時理事会を招集しなければならない。
- 4 理事会の議長は、会長とする。
- 5 会長は、理事会の承認によってオブザーバーの参加を認めることができる。

(理事会の定足数等)

第17条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の者が出席しなければ、議事を開き議決することができない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者は、出席者とみなす。

- 2 理事会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除いて、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の構成)

第18条 総会は、本会の最高の意思決定機関であり、団体会員、個人会員をもって組織する。

(総会の招集等)

第19条 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

- 2 通常総会は、毎年一回招集し、その時期は原則5月とする。
- 3 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、会長が招集する。
- 4 総会の招集は、少なくとも7日以前に、その会議に付議すべき事項、日時及び場所を記載した書面を、電子メール、または郵送にて通知する。
- 5 総会の議長は、会長とする。

(総会の報告事項と議決事項)

第20条 総会では、本会の業務に関する重要事項について報告し、次の事項に関しては理事会が提案し、総会で議決する。

- 2 当該事業年度の事業計画及び収支予算についての事項。

3 前事業年度の事業報告及び決算についての事項。

(総会の定足数)

第21条 総会は、団体会員現在数の過半数以上が出席しなければ、議事を開き議決することができない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した団体会員、及び他の団体会員を代理として表決を委任した団体会員は、出席とみなす。

2 総会の議事は、この会則に別段の定めがある場合を除いて、出席団体会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(議事録)

第22条 理事会及び総会では、議事録を作成し、理事会承認後、これを保存する。

## 第6章 会則の変更及び解散

(会則の変更)

第23条 本会則は、理事会及び総会の議決を経なければ変更することはできない。

(解散)

第24条 本会の解散は、理事会及び総会の議決を経て、解散することができる。

(残余財産の処分)

第25条 本会の解散に伴う残余財産は、理事会及び総会の議決を経て、本会の目的に類似の目的を有する公益団体に寄附するものとする。

## 第7章 雑則

(細則)

第26条 本会則の施行についての細則は、理事会の議決を経て、別に定める。

第27条 会長が必要と認めるときは、理事会又は総会を、Web 会議システム（映像と音声の送受信により理事会又は総会に出席する者の間で同時かつ双方向に対話をすることができる会議システムをいう。以下同じ。）を利用して開催することができる。

2 Web 会議システムを利用して理事会に参加する理事は、第17条第1項の規定による出席者に含めるものとする。

3 Web 会議システムを利用して総会に参加する団体会員は、第21条第1項の規定による出席者に含めるものとする。

4 Web 会議システムの利用において、映像のみならず音声を送受信できなくなった場合、当該 Web 会議システムを利用して出席した者（理事会にあっては理事、総会にあっては団体会員をいう。）は、音声を送受信できなくなった時刻から会議を退席したものとみなす。

5 Web 会議システムの利用は、可能な限り静寂な個室その他これに類する環境で行わなければならない。

(附則)

本会則は、2008年4月9日より施行する。

(附則)  
本会則は、2009年5月12日より施行する。

(附則)  
本会則は、2010年4月27日より施行する。

(附則)  
本会則は、2012年5月9日より施行する。

(附則)  
本会則は、2013年5月10日より施行する。

(附則)  
本会則は、2014年5月14日より施行する。

(附則)  
本会則は、2015年5月13日より施行する。

(附則)  
本会則は、2016年5月11日より施行する。

(附則)  
本会則は、2018年5月16日より施行する。

(附則)  
本会則は、2023年11月16日より施行する。